

令和6年度 第4回 野洲市地域公共交通会議 議事要旨

日 時	令和7年2月3日（月）14：00～15：02
場 所	野洲市役所本館3階 第1委員会室

- 出席委員：井上会長、福島副会長、北村委員、田中暢之委員、池田委員、辰野委員、中村委員、野村委員、条委員、山田氏（山下委員代理）、田中郁代委員、小池氏（布施委員代理）、井出委員、井狩委員、今在家氏（岡崎委員代理）、中塚委員
- 欠席委員：田中英樹委員、岩井委員、戸倉委員、清水委員、今西委員、松尾委員、山路委員、永井委員
- 事務局：市民部 川崎次長兼課長、協働推進課 山田、高齢福祉課 丹沢主査
- 説明員：守山市都市計画・交通政策課 大崎主任、三品主任

○会議結果

議題

（１）守山市デマンド乗合タクシー「モーリーカー」の制度改善について

→承認

（２）2025年4月1日あやめ営業所管内におけるダイヤ改正について

→報告

（３）野洲市地域公共交通会議運賃部会の制定について

→承認

（４）野洲市コミュニティバス再編にかかるアンケート（案）について

→報告

その他

- ・滋賀の公共交通未来アイデア会議について
- ・「交通空白」解消・官民連携プラットフォームについて

1. 開会

2. 挨拶

市民部長：本日は委員の皆様には、ご多忙の中、会議の方にご出席いただき誠にありがとうございます。委員の皆様のお立場で、平素から野洲市の地域の公共交通の維持発展にそれぞれご支援ご協力いただきまして誠に感謝します。本日は限られた時間ではありますが、有意義な会議となりますようお願いいたしまして、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

3. 議事

（１）守山市デマンド乗合タクシー「モーリーカー」の制度改善について

説明員：資料１、２により説明

会長：野洲市民の方は利用できないが施設が増えたという報告。停留所の場所についても安全性は確認されており大きな問題はないと思う。もしザ・ビッグエクストラ野洲店との協議が整った場合はまたここで報告が必要になるのか。

説明員：運行区域の変更が伴う場合のみ協議会での説明が必要となるので、ザ・ビッグエクストラ

野洲店が追加される場合において改めての説明は想定していない。

会長：他に質問、意見はあるか。本議事は、承認いただけるか。

全員：異議なしの声。

(2) 2025 年 4 月 1 日あやめ営業所管内におけるダイヤ改正について

委員：資料 3 により説明

会長：質問、意見はあるか。

全員：特になしの声。

(3) 野洲市地域公共交通会議運賃部会の制定について

事務局：資料 4 により説明

会長：他に質問、意見はあるか。本議事は、承認いただけるか。

全員：異議なしの声。

(4) 野洲市コミュニティバス再編にかかるアンケート（案）について

事務局：資料 5、6、7 により説明

会長：第 2 回野洲市地域公共交通会議での委員の意見をまとめたアンケートである。

一般の方と高齢者、障害者の利用状況の区分が分かるので、路線毎にも利用状況の区分があれば、例えば一般の方の利用の多い系統はどれか、停留所はどこかといった割合が出せたら良いと思う。今回停留所毎の利用データが可視化できたので 1 年間で利用の少ない停留所の分析を行うと、今後スリムな運行が可能になる。今はどうしても地元の方々の要望で様々なルートが採られているが、利用がないバス停も可視化できる。

また、他の地域でもあるが、野洲市のコミバスの利用方法も、駅ないしはその近くで降りて、その周辺や病院に行き、最後に買い物を行い、買い物袋を提げたところから乗るという傾向が見られる。

ということは、例えばバスの待ち環境を整備するとすれば、みんながよく乗るところ、ここであればアル・プラザ前のバス待ち環境の改善をしていくと一番効果が上がるというようなことが検討できる。全便のデータが時間帯別に全部可視化できるので引き続きデータをしっかり取っていただきたい。

事務局：注意してデータ抽出していく。

委員：高齢者や障害者の方は一般の方よりはある程度行動が限定的になるのではないと思うが、一般の方の行動をもう少し分析するために、アンケート結果について、問 2、問 4、問 6 をクロス分析していただきたい。そうすることで今後のコースの再編の検討の際には、何か見えてくるものがあるのではないか。例えば年代別毎にどの程度利用してどのコースを乗っているかを見ることで、資料に記載のある一般の方の行動が見えてくるのでは。その上で、こういうコースはどうかと更に検討を加える要素にできるのではないか。また、問 9 のところで、コミュニティバスのサービス水準という表現が出てくるが、このサービス水準をどう受け取るか。ここに参加されている関係者は、例えばコースや運賃、運行時間であるとわかると思うが、そうでない方がこのサービス水準を見てどの程度理解できるのか。検討の余地があるのでは。

事務局：問 9 の選択肢 3 については、コミュニティバスのサービスを現行から変更して欲しくないという主旨で記載したので、表記については検討する。

委員：市民から再編をいつするのかという質問が出るのでは。問 6 の選択肢 4 から 7 を選んだ方については問 8 で令和 9 年 3 月の停留所の設置のことに言及しているが。

事務局：「令和 9 年 3 月に市立野洲市民病院が開院することを受けて、同時期にバスのダイヤ改正

を行います」という形で鏡文に追記する。

委員：今回予定されているこのバスの再編は、市立野洲市民病院の開院に向けて、この一点に絞って再編するという考え方か。

事務局：改正時期については令和9年3月実施させていただく。ただコミュニティバスに関しては乗務員7名が7台を使って日々運行しており、乗務員が不足している状況では、乗務員数を増やすことはできない。大きく運行ルートを変えると便数が減少する。ルートを変えれば利用者のニーズも変わるので、先に病院に対するニーズを確認するためのアンケートを行う。

委員：大きな再編は不可能だから、病院のニーズに今回着目してお聞きすると理解をしたが、今この問8はコミバスを使っている方だけが答える構成になっている。そこを今の利用者だけに絞らなくてもいいのではないか。

事務局：前提の説明が足りなかったが、現在、市立野洲病院は病院送迎を行っており、野洲市民病院開院後も、病院送迎は実施するため、コミュニティバスの現利用者のニーズを把握したい。

会長：問8に関しては例えば問3でコミュニティバスを一度も利用したことのないという2番を選択したというデータが出てくるので、問8で聞いても大きな問題はない。要は利用していない人がどうだったか、利用している人はどうかというのはわかるので、両方に聞いても良いのでは。

事務局：承知した。

委員：資料7の3ページ目の乗車降車のデータで上から四つ目の北桜、その乗車が100人に対して降車が1,100人。11倍も差があるが、なぜこんなに乗車と降車に差があるのか。

事務局：北桜は希望が丘にある集落。三上コースはワゴン車両であり、センサー方式で乗降数を把握している。乗務員が北桜で休憩するので、バスを停車させて乗降する際にセンサーがカウントするが、ここだけセンサーが降車だけをカウントしているように見える。三上コースは1日に10便の運行であり、5便の運行数、大体60日ぐらいで計算しても、センサーのカウントが多いイメージはある。実際の数値と乖離している可能性がある。

会長：センサーの不具合かもしれないということで承知した。もしかすると、行動とダイヤが全く合ってなくて、そこで降りる人は多いけど、乗ることができないという判断をしている人が多いのかと思ったが、そういうわけではないようである。今後、データを作るときには疑義のあるところには注記などを付けたほうが良い。

事務局：承知した。

会長：ダイヤ改正について。コミバスの大規模な改正は令和9年3月の病院の開院とともに検討しているとのことだが、その間に変更する可能性はあるか。例えば乗務員7名を維持することはできるのかという心配がある。

事務局：現時点では7名で継続をしていくという形でお話はしてもらっており、運行管理者からは増便や乗務員を増やせないと確認している。

会長：問9の聞き方が難しい。アンケートを取った後にどうそれを反映させるかというときに、解釈が難しくなってくると大変なので、もしこういう答えが多かった場合にどういう対応をしないといけないかというのを課内で想像していただければ、もしかしたら聞きにくいところが出るかもしれない。

委員：運賃値上げについてどう思うか、200円という運賃自体が妥当なのかどうかは検討しないのか。維持費というのは要するに今いただいている市税の中で増やすか減らすかということを知っているが、負担の仕方はいろいろあって、利用者が負担すべきという意見も多いと思う。サービスの現行維持でもかなり厳しいと思うので、運賃200円というのが妥当なのかどうかというのでも聞けるなら、聞いたほうがよいのでは。他の市で今回値上げされるところもある。

事務局：問9の選択肢2と4を運賃に関する設問にする。

会長：もし運賃について聞くのであれば、問9とは分けて、コミュニティバスの維持費を減らすこ

とについて運賃に反映させることを良いと思うか悪いと思うか聞いた方が良い。例えば税金の拋出をしてもいいからサービス向上してほしい、かつ受益者も負担してほしいという人もいれば、市からの負担も絶対に認めないが、受益者はもっと負担してほしいという人もいるだろう。サービスが下がるのは仕方ないので絶対運賃を値上げしないでほしいという人もいる。ただ、もし運賃を値上げしたとして、どれぐらい運賃が上がったら市の税金が減るかというのと、ざっくり計算したら1人当たり1000円を市が支払っている。運賃が1200円に上がれば、市の税金はゼロになる。それが例えば運賃が300円になって市の負担が900円になる、100円下がるのがそんなに効果的なのか、その辺は難しい。

事務局：承知した。

会長：このアンケート案については先ほど皆様方からいただいたご意見を踏まえて修正の上実施するという事で問題ないか。

全員：異議なし。

会長：できる限り多くの方にお答えいただけると助かる。また、ぜひ若い世代の方にも届くように何とか頑張っていたきたい。

4. その他

○滋賀の公共交通未来アイデア会議について

委員：チラシにより説明

○「交通空白」解消・官民連携プラットフォームについて

委員：追加資料により説明

会長：これは今、空白のところもそうだが、もし例えば、人口が非常に少なく、バスではもう成り立たないというようなところで公共ライドシェアに切り替えようという場合でもいけるということか。

委員：今後、国から自治体さんに向けて交通空白の地域があるかという質問をさせていただくので、そこでリストアップいただければメニューを使うことは可能。

会長：前向きにご検討いただきたい。

会長：他にあるか。予定の議事はこれで終了である。議事進行を事務局に返す。

5. 閉会

事務局：慎重審議に感謝する。本日の会議を終了する。

以上